

令和6年度 保護者アンケート（7・12月比較）

| 評価項目 | 7月（回答率43.9%） | | | | 12月（回答率34.5%） | | | |
|---|--------------|---------|--------------|-----------|---------------|---------|--------------|-----------|
| | A よくあてはまる | B あてはまる | C あまりあてはまらない | D あてはまらない | A よくあてはまる | B あてはまる | C あまりあてはまらない | D あてはまらない |
| 1 子どもは、進んであいさつをしている。 | 29 | 49 | 20 | 3 | 26 | 46 | 23 | 5 |
| 2 子どもは、学校へ行くのが「楽しい」と言っている。 | 47 | 44 | 7 | 1 | 41 | 46 | 10 | 3 |
| 3 子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。 | 30 | 58 | 12 | 0 | 29 | 60 | 7 | 4 |
| 4 子どもは、「です」「ます」等のいけない言葉遣いをしている。 | 16 | 43 | 32 | 8 | 13 | 40 | 34 | 14 |
| 5 子どもは、徒歩登校（てくてく登校）をしている。 | 84 | 9 | 3 | 4 | 83 | 8 | 5 | 3 |
| 6 学校は、学習のきまり（聞く態度・姿勢・学習用具の準備）の指導を行っている。 | 53 | 43 | 3 | 1 | 61 | 35 | 3 | 1 |
| 7 学校は、校内の様子や学習状況等についてお知らせしている。（公文・スクリレ・HP等） | 64 | 33 | 3 | 0 | 73 | 24 | 2 | 0 |
| 8 学校は、子どものことについて、適切に相談にに応じている。 | 51 | 43 | 6 | 0 | 54 | 40 | 6 | 0 |
| 9 学校は、子どもの努力を認め、よいことをほめている。 | 54 | 41 | 5 | 0 | 60 | 33 | 5 | 1 |
| 10 学校は、子どもの発表の場や活躍の場を積極的につづけている。 | 51 | 45 | 4 | 0 | 62 | 35 | 2 | 1 |
| 11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。 | 43 | 48 | 8 | 0 | 47 | 44 | 9 | 1 |
| 12 学校は、事故防止等の安全対策を行っている。 | 49 | 47 | 4 | 0 | 49 | 44 | 5 | 2 |
| 13 学校は、学習環境（施設・設備・花と緑等）が整っている。 | 53 | 41 | 6 | 0 | 59 | 36 | 5 | 1 |
| 14 家庭では、子どもの将来の「夢」や「進路」等について話している。 | 35 | 49 | 14 | 3 | 39 | 41 | 15 | 4 |
| 15 家庭では、望ましい生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着を行っている。 | 51 | 42 | 7 | 0 | 47 | 48 | 5 | 0 |
| 16 家庭では、家庭学習の時間を設定し、学習のチェック（サイン等）をしている。 | 41 | 39 | 14 | 6 | 32 | 43 | 21 | 4 |
| 17 学校は、小中一貫教育の取り組みや活動の様子について伝えている。 | 33 | 46 | 15 | 6 | 32 | 47 | 14 | 7 |
| 18 PTA活動には、進んで参加している。 | 13 | 27 | 38 | 22 | 14 | 36 | 31 | 20 |

〈考察〉7月と12月の比較から ※ 四捨五入しての数値のため、合計100%にならない項目あり

- AB判定合計で最も高いのは、7「情報発信」と10「発表や活躍の場づくり」で、97%である。さらに、A判定が9ポイント以上も上昇している。
→ **公文発送以外にも、スクリレやHPでの情報発信に対して、保護者から認められている。**
- 6・8・9・11～13・15も、AB判定合計が90%を越えている。
→ **6～13は、先生方や学校の取り組みに関する項目で、これも保護者から認められている。**
- △ CD判定で最も高いのは、18「PTA活動への参加」であるが、12月にはAB判定が40%から50%へと上昇した。
→ **PTA活動が徐々に活性化してきている。さらにPTA活動への取り組みを推進していくとよい。**
- AB判定合計で下降した(-5%以上)のは、1「あいさつ」と4「ていねいな言葉遣い」16「家庭学習」である。
→ **あいさつや言葉遣いについて、学校や家庭・地域等で常に意識づけていくこと。「汁・テ・ぶ・れ」学習の推進等、行っていく必要がある。**
- 2「学校が楽しい」と5「徒歩登校」、9「努力の承認」12「安全対策」14「夢や進路の話し合い」で、わずかに減少(5%未満)している。
→ **今年度残りわずかな期間の取り組みと次年度に向けての課題として、意識づけていく。**

